

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年7月23日
【発行者名】	みずほ投信投資顧問株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 田中 慎一郎
【本店の所在の場所】	東京都港区三田三丁目5番27号
【事務連絡者氏名】	商品開発部長 三木谷 正直 連絡場所 東京都港区三田三丁目5番27号
【電話番号】	03-5232-7700
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	MHAMキャピタル・グロース・オープン
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	上限1兆円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成22年1月22日付をもって提出した有価証券届出書（平成22年5月6日付、平成22年6月4日付で提出した有価証券届出書の訂正届出書にて訂正済。以下「原届出書」といいます。）の記載事項について、有価証券報告書の提出等に伴ない、訂正すべき事項がありましたので、関係事項を下記のとおり訂正するものであります。

2 【訂正の内容】

第一部 【証券情報】

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(5) 申込手数料

申込手数料(受益権1口当たり)は、取得申込日の基準価額に、販売会社が別に定める率(以下、「手数料率」といいます。)を乗じて得た額とし、平成22年1月22日現在における手数料率の上限は3.15%(税抜3%)です。なお、申込手数料には、消費税ならびに地方消費税に相当する金額(5%、以下「消費税等相当額」といいます。)が課せられます。

、 (略)

< 訂正後 >

(5) 申込手数料

申込手数料(受益権1口当たり)は、取得申込日の基準価額に、販売会社が別に定める率(以下、「手数料率」といいます。)を乗じて得た額とし、平成22年7月23日現在における手数料率の上限は3.15%(税抜3%)です。なお、申込手数料には、消費税ならびに地方消費税に相当する金額(5%、以下「消費税等相当額」といいます。)が課せられます。

、 (略)

第二部 【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(2) ファンドの仕組み

当ファンドの運営の仕組み

(略)

委託会社の概況

1 . 資本金の額 20億4,560万円(平成21年12月31日現在)

2 . 会社の沿革

(略)

3 . 大株主の状況(平成21年12月31日現在)

名称	住所	所有株式数	比率
株式会社みずほフィナンシャルグループ	東京都千代田区丸の内二丁目5番1号	1,038,408株	98.7%
ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	米国ニュージャージー州ジャージーシティー市ハドソン通り90番地	13,662株	1.3%

< 訂正後 >

(2) ファンドの仕組み

当ファンドの運営の仕組み

(略)

委託会社の概況

1. 資本金の額 20億4,560万円(平成22年6月30日現在)
2. 会社の沿革
(略)
3. 大株主の状況(平成22年6月30日現在)

名称	住所	所有株式数	比率
株式会社みずほフィナンシャルグループ	東京都千代田区丸の内二丁目5番1号	1,038,408株	98.7%
ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	米国ニュージャージー州ジャージーシティー市ハドソン通り90番地	13,662株	1.3%

2 投資方針

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正部分を示します。

(3) 運用体制

< 訂正前 >

意思決定プロセス

- 1 ~ 4. (略)
5. 以上の内部管理およびファンドに係る意思決定については、内部監査部門(平成21年12月末現在4名)が業務執行の適正性・妥当性・効率性等の観点からモニタリングを実施しています。
なお、上記の組織の体制および会議の名称等については、変更になることがあります。
(略)

< 訂正後 >

意思決定プロセス

- 1 ~ 4. (略)
5. 以上の内部管理およびファンドに係る意思決定については、内部監査部門(平成22年6月末現在4名)が業務執行の適正性・妥当性・効率性等の観点からモニタリングを実施しています。
なお、上記の組織の体制および会議の名称等については、変更になることがあります。
(略)

4 手数料等及び税金

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(1) 申込手数料

申込手数料(受益権1口当たり)は、取得申込日の基準価額に、販売会社が別に定める率(以下「手数料率」といいます。)を乗じて得た金額とし、平成22年1月22日現在における手数料率の上限は3.15%(税抜3%)です。なお、申込手数料には、消費税等相当額が課せられます。

～ (略)

<訂正後>

(1) 申込手数料

申込手数料(受益権1口当たり)は、取得申込日の基準価額に、販売会社が別に定める率(以下「手数料率」といいます。)を乗じて得た金額とし、平成22年7月23日現在における手数料率の上限は3.15%(税抜3%)です。なお、申込手数料には、消費税等相当額が課せられます。

～ (略)

5 運用状況

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」については、下記の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

(1) 投資状況(平成22年6月4日現在)

資産の種類		国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
有価証券	株式	日本	5,295,278,500	97.44
その他の資産	現金・預金・その他の資産(負債控除後)		138,656,820	2.55
合計(純資産総額)			5,433,935,320	100.00

(注1) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。(以下同じ。)

(注2) 小数点第3位切捨て、端数調整は行っておりません。(以下同じ。)

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	35,720,000	0.65

(注) 株価指数先物取引の時価の算定方法については、取引所の発表する計算日の清算値段により評価しております。

(2) 投資資産(平成22年6月4日現在)

【投資有価証券の主要銘柄】(評価額上位30銘柄)

順位	銘柄名	種類	国/地域	業種	数量(株式数)	帳簿価額単価(円)	帳簿価額金額(円)	評価額単価(円)	評価額金額(円)	投資比率(%)
1	任天堂	株式	日本	その他製品	7,600	31,231.07	237,356,162	26,650.00	202,540,000	3.72
2	三井不動産	株式	日本	不動産業	142,000	1,651.64	234,533,366	1,413.00	200,646,000	3.69
3	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	71,200	3,235.00	230,332,000	2,727.00	194,162,400	3.57
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	393,300	509.00	200,189,700	445.00	175,018,500	3.22
5	三井物産	株式	日本	卸売業	137,500	1,475.00	202,812,500	1,206.00	165,825,000	3.05
6	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	46,500	3,695.00	171,817,500	3,345.00	155,542,500	2.86
7	住友不動産	株式	日本	不動産業	91,000	1,882.42	171,300,448	1,648.00	149,968,000	2.75
8	東芝	株式	日本	電気機器	295,000	548.00	161,660,000	469.00	138,355,000	2.54
9	住友商事	株式	日本	卸売業	137,900	1,144.00	157,757,600	986.00	135,969,400	2.50
10	本田技研工業	株式	日本	輸送用機器	46,400	3,335.00	154,744,000	2,825.00	131,080,000	2.41
11	グリー	株式	日本	情報・通信業	18,300	5,680.00	103,944,000	7,140.00	130,662,000	2.40
12	信越化学工業	株式	日本	化学	26,800	5,500.00	147,400,000	4,670.00	125,156,000	2.30
13	ナブテスコ	株式	日本	機械	97,000	1,218.00	118,146,000	1,284.00	124,548,000	2.29
14	小松製作所	株式	日本	機械	69,900	1,825.31	127,589,866	1,711.00	119,598,900	2.20
15	ニフコ	株式	日本	化学	63,300	2,081.00	131,727,300	1,877.00	118,814,100	2.18

16	宇部興産	株式	日本	化学	498,000	249.00	124,002,000	235.00	117,030,000	2.15
17	スタンレー電気	株式	日本	電気機器	67,200	1,894.00	127,276,800	1,677.00	112,694,400	2.07
18	東京海上ホールディングス	株式	日本	保険業	40,600	2,830.00	114,898,000	2,586.00	104,991,600	1.93
19	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	株式	日本	情報・通信業	740	148,500.20	109,890,148	135,700.00	100,418,000	1.84
20	ダイセキ	株式	日本	サービス業	52,100	2,063.00	107,482,300	1,901.00	99,042,100	1.82
21	ショーボンドホールディングス	株式	日本	建設業	54,400	1,851.00	100,694,400	1,794.00	97,593,600	1.79
22	富士通	株式	日本	電気機器	169,000	668.00	112,892,000	577.00	97,513,000	1.79
23	三菱電機	株式	日本	電気機器	128,000	858.00	109,824,000	755.00	96,640,000	1.77
24	野村不動産ホールディングス	株式	日本	不動産業	72,700	1,605.00	116,683,500	1,284.00	93,346,800	1.71
25	島津製作所	株式	日本	精密機器	129,000	805.00	103,845,000	679.00	87,591,000	1.61
26	ザッパラス	株式	日本	情報・通信業	664	158,900.00	105,509,600	129,500.00	85,988,000	1.58
27	野村ホールディングス	株式	日本	証券、商品先物取引業	142,100	656.36	93,269,217	559.00	79,433,900	1.46
28	住友金属鉱山	株式	日本	非鉄金属	63,000	1,425.00	89,775,000	1,259.00	79,317,000	1.45
29	日立金属	株式	日本	鉄鋼	87,000	993.00	86,391,000	905.00	78,735,000	1.44
30	東京エレクトロン	株式	日本	電気機器	13,700	6,410.00	87,817,000	5,580.00	76,446,000	1.40

投資有価証券の種類別及び業種別投資比率

国内/外国	種類	業種	投資比率(%)
国内	株式	建設業	2.35
		食料品	0.28
		化学	12.00
		医薬品	0.54
		ゴム製品	0.73
		ガラス・土石製品	1.34
		鉄鋼	1.44
		非鉄金属	1.45
		金属製品	0.79
		機械	8.72
		電気機器	14.34
		輸送用機器	9.04
		精密機器	2.33
		その他製品	4.38
		倉庫・運輸関連業	0.51
		情報・通信業	9.42
		卸売業	5.55
		銀行業	6.79
		証券、商品先物取引業	1.46
		保険業	1.93
不動産業	9.31		
サービス業	2.64		
合計			97.44

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

種類	取引所等	資産名	建別	数量	簿価金額 (円)	時価 (円)	投資 比率 (%)
株価指数先物取引	東京証券取引所	東証株価指数先物	買建	4	39,900,000	35,720,000	0.65

(注) 時価の算定方法

取引所の発表する計算日の清算値段により評価しています。

(3) 運用実績

純資産の推移

平成22年6月4日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

期	年月日	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
2期	平成12年10月27日	59,371	59,499	0.9308	0.9328
3期	平成13年4月27日	41,902	41,902	0.7656	0.7656
4期	平成13年10月29日	30,245	30,245	0.5885	0.5885
5期	平成14年4月30日	27,335	27,335	0.5975	0.5975
6期	平成14年10月28日	19,958	19,958	0.4800	0.4800
7期	平成15年4月28日	13,587	13,587	0.4018	0.4018
8期	平成15年10月27日	16,033	16,061	0.5708	0.5718
9期	平成16年4月27日	16,315	16,387	0.6802	0.6832
10期	平成16年10月27日	13,683	13,683	0.5917	0.5917
11期	平成17年4月27日	14,146	14,222	0.6525	0.6560
12期	平成17年10月27日	17,694	17,746	0.8540	0.8565
13期	平成18年4月27日	25,044	25,141	1.0396	1.0436
14期	平成18年10月27日	22,046	22,046	0.8929	0.8929
15期	平成19年4月27日	20,342	20,431	0.9102	0.9142
16期	平成19年10月29日	16,916	16,916	0.8605	0.8605
17期	平成20年4月28日	12,305	12,305	0.6946	0.6946
18期	平成20年10月27日	6,268	6,268	0.3814	0.3814
19期	平成21年4月27日	6,436	6,455	0.3986	0.3998
20期	平成21年10月27日	6,350	6,386	0.4403	0.4428
21期	平成22年4月27日	6,102	6,139	0.4872	0.4902
	平成21年6月末日	7,076		0.4527	
	平成21年7月末日	7,013		0.4631	
	平成21年8月末日	7,035		0.4708	
	平成21年9月末日	6,583		0.4506	
	平成21年10月末日	6,290		0.4363	
	平成21年11月末日	5,750		0.4075	
	平成21年12月末日	5,855		0.4395	
	平成22年1月末日	5,695		0.4348	
	平成22年2月末日	5,488		0.4264	
	平成22年3月末日	5,968		0.4738	
	平成22年4月末日	6,057		0.4829	
	平成22年5月末日	5,360		0.4306	
	平成22年6月4日	5,433		0.4367	

（注）表中の末日とは当該月の最終営業日を指します。

分配の推移

期	1口当たりの分配金（円）
2期	0.0020
3期	0.0000
4期	0.0000
5期	0.0000
6期	0.0000

7期	0.0000
8期	0.0010
9期	0.0030
10期	0.0000
11期	0.0035
12期	0.0025
13期	0.0040
14期	0.0000
15期	0.0040
16期	0.0000
17期	0.0000
18期	0.0000
19期	0.0012
20期	0.0025
21期	0.0030

収益率の推移

期	収益率（％）
2期	18.97
3期	17.75
4期	23.13
5期	1.53
6期	19.67
7期	16.29
8期	42.31
9期	19.69
10期	13.01
11期	10.87
12期	31.26
13期	22.20
14期	14.11
15期	2.39
16期	5.46
17期	19.28
18期	45.09
19期	4.82
20期	11.09
21期	11.33

（注1）収益率は期間騰落率。

（注2）小数点第3位四捨五入。

7 管理及び運営の概要

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部 は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(1) 資産管理等の概要

～（略）

その他

1．～2．（略）

3．公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

4. (略)

(2) 受益者の権利等 (略)

<訂正後>

(1) 資産管理等の概要

～ (略)

その他

1. ～ 2. (略)

3. 公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。一

平成23年2月1日より、公告の方法は以下の通り変更される予定です。

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.mizuho-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

4. (略)

(2) 受益者の権利等 (略)

第2 【財務ハイライト情報】

原届出書の「第二部 ファンド情報 第2 財務ハイライト情報」については、下記の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

1. 財務ハイライト情報は、財務諸表の内容の一部を抜粋したものです。

当ファンドの財務諸表は「第三部 ファンドの詳細情報」の「第4 ファンドの経理状況 1. 財務諸表」に記載しております。

2. 当ファンドの「財務諸表」については、新日本有限責任監査法人の監査を受けており、当該監査報告書は、当該財務諸表に添付されています。

MHAMキャピタル・グロ-ス・オ-ブン

1 貸借対照表

(単位：円)

区分	第20期 (平成21年10月27日現在)	第21期 (平成22年4月27日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	8,071,725	8,222,533
金銭信託	500,889	497,351
コール・ローン	241,849,610	239,588,436
株式	6,161,281,620	5,903,188,950
派生商品評価勘定		3,212,298
未収配当金	46,257,150	46,174,397
未収利息	795	722

前払金	784,000	
差入委託証拠金	1,320,000	1,200,000
流動資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687
資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,291,812	
前受金		3,180,000
未払収益分配金	36,056,501	37,575,967
未払解約金	11,438,944	6,547,914
未払受託者報酬	3,580,457	3,084,975
未払委託者報酬	57,287,334	49,359,421
その他未払費用	178,960	154,190
流動負債合計	109,834,008	99,902,467
負債合計	109,834,008	99,902,467
純資産の部		
元本等		
元本	14,422,600,434	12,525,322,347
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	8,072,368,653	6,423,140,127
元本等合計	6,350,231,781	6,102,182,220
純資産合計	6,350,231,781	6,102,182,220
負債純資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687

2 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

区 分	第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)
営業収益		
受取配当金	43,128,412	48,813,247
受取利息	98,393	89,007
有価証券売買等損益	738,452,643	621,553,848
派生商品取引等損益	4,243,510	4,309,493
為替差損益	431,135	150,808
その他収益	14,847	
営業収益合計	785,506,670	674,916,403
営業費用		
受託者報酬	3,580,457	3,084,975
委託者報酬	57,287,334	49,359,421
その他費用	207,631	181,750
営業費用合計	61,075,422	52,626,146
営業利益又は営業損失（ ）	724,431,248	622,290,257
経常利益又は経常損失（ ）	724,431,248	622,290,257
当期純利益又は当期純損失（ ）	724,431,248	622,290,257
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	90,960,683	1,736,078
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	9,711,994,469	8,072,368,653

剰余金増加額又は欠損金減少額	1,112,810,044	1,118,289,759
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,112,810,044	1,118,289,759
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		
剰余金減少額又は欠損金増加額	70,598,292	55,511,601
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	70,598,292	55,511,601
分配金	36,056,501	37,575,967
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	8,072,368,653	6,423,140,127

重要な会計方針に係る事項に関する注記

項目	第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 個別法により時価に基づいて評価しております。	株式 同左
2 派生商品等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法により時価に基づいて評価しております。	先物取引 同左
3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算し、為替予約の評価は計算期間末日に残高がある場合、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。	同左
4 収益・費用の計上基準	受取配当金 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益 約定日基準で計上しております。	受取配当金 同左 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益 同左

第三部 【ファンドの詳細情報】

第3 【管理及び運営】

原届出書の該当事項を以下の内容に訂正します。

下線部 は訂正部分を示します。

1 資産管理等の概要

(5) その他

< 訂正前 >

～ （略）

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

（略）

<訂正後>

～ （略）

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。一

平成23年2月1日より、公告の方法は以下の通り変更される予定です。

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.mizuho-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

（略）

第4 【ファンドの経理状況】

原届出書の「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

(1) 当ファンドの財務諸表は、第20期計算期間(平成21年4月28日から平成21年10月27日まで)及び、第21期計算期間(平成21年10月28日から平成22年4月27日まで)について、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号(以下「財務諸表等規則」という。))ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号(以下「投資信託財産計算規則」という。))に基づいて作成しております。

財務諸表等規則は平成20年8月7日付内閣府令第50号により、投資信託財産計算規則は平成21年6月24日付内閣府令第35号によりそれぞれ改正されておりますが、第20期計算期間(平成21年4月28日から平成21年10月27日まで)は改正前の財務諸表等規則及び投資信託財産計算規則、第21期計算期間(平成21年10月28日から平成22年4月27日まで)は改正後の財務諸表等規則及び投資信託財産計算規則に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第20期計算期間(平成21年4月28日から平成21年10月27日まで)及び、第21期計算期間(平成21年10月28日から平成22年4月27日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

MHAMキャピタル・グロース・オープン

(1) 貸借対照表

(単位：円)

区分	第20期 (平成21年10月27日現在)	第21期 (平成22年4月27日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	8,071,725	8,222,533
金銭信託	500,889	497,351
コール・ローン	241,849,610	239,588,436
株式	6,161,281,620	5,903,188,950
派生商品評価勘定		3,212,298
未収配当金	46,257,150	46,174,397
未収利息	795	722
前払金	784,000	
差入委託証拠金	1,320,000	1,200,000
流動資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687
資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,291,812	

前受金		3,180,000
未払収益分配金	36,056,501	37,575,967
未払解約金	11,438,944	6,547,914
未払受託者報酬	3,580,457	3,084,975
未払委託者報酬	57,287,334	49,359,421
その他未払費用	178,960	154,190
流動負債合計	109,834,008	99,902,467
負債合計	109,834,008	99,902,467
純資産の部		
元本等		
元本	14,422,600,434	12,525,322,347
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	8,072,368,653	6,423,140,127
元本等合計	6,350,231,781	6,102,182,220
純資産合計	6,350,231,781	6,102,182,220
負債純資産合計	6,460,065,789	6,202,084,687

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

区分	第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)
営業収益		
受取配当金	43,128,412	48,813,247
受取利息	98,393	89,007
有価証券売買等損益	738,452,643	621,553,848
派生商品取引等損益	4,243,510	4,309,493
為替差損益	431,135	150,808
その他収益	14,847	
営業収益合計	785,506,670	674,916,403
営業費用		
受託者報酬	3,580,457	3,084,975
委託者報酬	57,287,334	49,359,421
その他費用	207,631	181,750
営業費用合計	61,075,422	52,626,146
営業利益又は営業損失（ ）	724,431,248	622,290,257
経常利益又は経常損失（ ）	724,431,248	622,290,257
当期純利益又は当期純損失（ ）	724,431,248	622,290,257
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	90,960,683	1,736,078
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	9,711,994,469	8,072,368,653
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,112,810,044	1,118,289,759
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,112,810,044	1,118,289,759
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		
剰余金減少額又は欠損金増加額	70,598,292	55,511,601
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		

当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	70,598,292	55,511,601
分配金	36,056,501	37,575,967
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	8,072,368,653	6,423,140,127

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 個別法により時価に基づいて評価しております。	株式 同左
2 派生商品等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法により時価に基づいて評価しております。	先物取引 同左
3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算し、為替予約の評価は計算期間末日に残高がある場合、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。	同左
4 収益・費用の計上基準	受取配当金 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益 約定日基準で計上しております。	受取配当金 同左 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益 同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	期別	第 20 期 (平成21年10月27日現在)	第 21 期 (平成22年4月27日現在)
1 計算期間末日の受益権総口数		14,422,600,434口	12,525,322,347口
2 元本の欠損金額		純資産額は元本を8,072,368,653円下回っております。	純資産額は元本を6,423,140,127円下回っております。
3 期末1口当たりの純資産の額 (期末1万口当たりの純資産の額)		0.4403 円 (4,403 円)	0.4872 円 (4,872 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)																								
(単位:円)	(単位:円)																								
<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益 (39,179,997円)、有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(188,003,632円)、分配準備積立金(879,409,038円)より、分配対象収益は1,106,592,667円(1万口当たり767円)であり、うち36,056,501円(1万口当たり25円)を分配金額としております。</p>	<p>1 分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益 (45,167,210円)、有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(168,989,801円)、分配準備積立金(760,720,039円)より、分配対象収益は974,877,050円(1万口当たり778円)であり、うち37,575,967円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">配当等収益</td> <td style="text-align: right;">39,179,997</td> </tr> <tr> <td>有価証券売買等損益</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>収益調整金</td> <td style="text-align: right;">188,003,632</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金</td> <td style="text-align: right;">879,409,038</td> </tr> <tr> <td>分配可能額</td> <td style="text-align: right;">1,106,592,667</td> </tr> <tr> <td>収益分配額</td> <td style="text-align: right;">36,056,501</td> </tr> </table>	配当等収益	39,179,997	有価証券売買等損益	0	収益調整金	188,003,632	分配準備積立金	879,409,038	分配可能額	1,106,592,667	収益分配額	36,056,501	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">配当等収益</td> <td style="text-align: right;">45,167,210</td> </tr> <tr> <td>有価証券売買等損益</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>収益調整金</td> <td style="text-align: right;">168,989,801</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金</td> <td style="text-align: right;">760,720,039</td> </tr> <tr> <td>分配可能額</td> <td style="text-align: right;">974,877,050</td> </tr> <tr> <td>収益分配額</td> <td style="text-align: right;">37,575,967</td> </tr> </table>	配当等収益	45,167,210	有価証券売買等損益	0	収益調整金	168,989,801	分配準備積立金	760,720,039	分配可能額	974,877,050	収益分配額	37,575,967
配当等収益	39,179,997																								
有価証券売買等損益	0																								
収益調整金	188,003,632																								
分配準備積立金	879,409,038																								
分配可能額	1,106,592,667																								
収益分配額	36,056,501																								
配当等収益	45,167,210																								
有価証券売買等損益	0																								
収益調整金	168,989,801																								
分配準備積立金	760,720,039																								
分配可能額	974,877,050																								
収益分配額	37,575,967																								

(金融商品に関する注記)

第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)

(追加情報)

当計算期間より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しております。

1. 金融商品の状況に関する事項

項目	第 20 期 (自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日)	第 21 期 (自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日)
1 金融商品に対する取組方針		当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める投資を目的とする証券投資信託であり、証券投資信託約款および投資ガイドラインに基づいて運用しております。
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク		当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。なお、詳細は附属明細表をご参照下さい。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。また、当ファンドは信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、株価指数先物取引を行っており、当該デリバティブ取引は対象とする株価指数等に係る価格変動リスクを有しております。

<p>3 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>運用部門がポジション管理を行っておりますが、取引の執行・記録・管理については、運用部門とは独立したトレーディング部門が行うとともに、法務・コンプライアンス部門においてデリバティブに関する法令・約款など運用に関する諸規則の遵守状況のチェックを行っております。また、リスク管理部門がポートフォリオのリスク状況の分析・チェックを行い、上記プロセスを通じ、適正なリスク管理が行われているかをチェックし、必要に応じて関連部署へ報告、注意、勧告を行っております。</p> <p>なお具体的には以下のリスクの管理を行っております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>
<p>4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明</p>	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には、合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

2. 金融商品の時価に関する事項

項目	第 20 期 (平成21年10月27日現在)	第 21 期 (平成22年4月27日現在)
1 貸借対照日における貸借対照表の科目ごとの計上額・時価・時価との差額		貸借対照表に計上している金融商品は、原則として時価評価としているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

<p>2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>株式 わが国の金融商品取引所または海外取引所に上場されている有価証券 わが国の金融商品取引所または海外取引所に上場されている有価証券は、原則として上記の取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できない場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>先物取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
-----------------------------	---

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

第 20 期（自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日）

種類	貸借対照表計上額（円）	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	6,161,281,620	212,983,130
合計	6,161,281,620	212,983,130

第 21 期（自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	626,251,625
合計	626,251,625

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の状況に関する事項

項目	第 20 期 （自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日）	第 21 期 （自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日）

1	取引の内容	外国為替予約取引および有価証券先物取引等を利用しております。
2	取引に対する取組方針	信託財産に属する為替変動リスクを回避するために、外国為替予約取引を活用しております。また、信託財産が運用対象とする有価証券等の価格変動リスクを回避するために、有価証券先物取引等を活用しております。
3	取引の利用目的	外国為替予約取引および有価証券先物取引等は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避すること、および信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避する目的で行っております。
4	取引に係るリスクの内容	デリバティブ取引は市場リスクを有していますが、一定の範囲内で取引を行うとともに、一部は信託財産に属する資産の市場リスクと相殺する関係にあるため、デリバティブ取引に係るリスクは限定的であると認識しております。また、取引の相手先は優良な取引先のみで行っており、信用リスクは低いと認識しております。
5	取引に係るリスクの管理体制	デリバティブ取引については、運用部門がポジション管理を行っておりますが、取引の執行・記録・管理については、運用部門とは独立したトレーディング部門が行うとともに、法務・コンプライアンス部門においてデリバティブに関する法令・約款など運用に関する諸規則の遵守状況のチェックを行っております。また、リスク管理部門がポートフォリオのリスク状況の分析・チェックを行い、上記プロセスを通じ、適正なリスク管理が行われているかをチェックし、必要に応じて関連部署へ報告、注意、勧告を行っております。

取引の時価等に関する事項

第 20 期（自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日）

（株式関連）

種 類	第 20 期（平成21年10月27日 現在）		
	契 約 額 等（円）	時 価 （円）	評 価 損 益 （円）
市場取引 株価指数先物取引 買建			
東証株価指数先物	37,211,812	35,920,000	1,291,812
小 計	37,211,812	35,920,000	1,291,812
合 計	37,211,812	35,920,000	1,291,812

（注）時価の算定方法

株価指数先物取引の時価の算定方法については、取引所の発表する計算日の清算値段により評価しております。

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第 21 期（自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日）

（株式関連）

種 類	第 21 期（平成22年4月27日 現在）			
	契 約 額 等（円）		時 価 （円）	評 価 損 益 （円）
	うち1年超			
市場取引 株価指数先物取引 買建				
東証株価指数先物	36,687,702		39,900,000	3,212,298
小 計	36,687,702		39,900,000	3,212,298
合 計	36,687,702		39,900,000	3,212,298

（注）時価の算定方法

「取引の時価等に関する事項 前期計算期間（株式関連）（注）時価の算定方法」に記載しております。

（関連当事者との取引に関する注記）

第 20 期（自 平成21年4月28日 至 平成21年10月27日）

名称	みずほインベスターズ証券株式会社
関連当事者との関係	投資信託委託業者の親会社の子会社

単位：円

取引の内容	取引の種類別の取引金額		科目	期末残高
有価証券等の委託売買取引	株式の取得	2,918,660,643	未払金	
	売買委託手数料	3,012,106		
	株式の売却	2,966,298,033	未収入金	
	売買委託手数料	3,046,955		
派生商品の買	259,812,000			
売買委託手数料	48,122			
派生商品の売	295,125,000			
売買委託手数料	61,368			

名称	みずほ証券株式会社
関連当事者との関係	投資信託委託業者の親会社の子会社

単位：円

取引の内容	取引の種類別の取引金額		科目	期末残高
有価証券等の委託売買取引	株式の取得	453,324,776	未払金	
	売買委託手数料	571,173		
株式の売却	457,950,658	未収入金		
	売買委託手数料			562,490

第 21 期（自 平成21年10月28日 至 平成22年4月27日）

名称	みずほインベスターズ証券株式会社
関連当事者との関係	投資信託委託業者の親会社の子会社

単位：円

取引の内容	取引の種類別の取引金額	科目	期末残高
-------	-------------	----	------

有価証券等の委託売買取引	株式の取得 売買委託手数料	2,450,080,428 2,543,676	未払金	
	株式の売却 売買委託手数料	2,919,313,995 2,887,946	未収入金	
	派生商品の買 売委託手数料	72,460,000 15,215		
	派生商品の売 売委託手数料	72,820,000 15,292		

名称	みずほ証券株式会社
関連当事者との関係	投資信託委託業者の親会社の子会社

単位：円

取引の内容	取引の種類別の取引金額		科目	期末残高
有価証券等の委託売買取引	株式の取得 売買委託手数料	30,500,132 38,427	未払金	
	株式の売却 売買委託手数料	232,835,590 293,357	未収入金	

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針

有価証券市場等における市場価格若しくは市場価格を基準とした適正な価格、又は諸般の事情から総合的に適正と判断される価格での最良執行を行っております。

2. 取引条件の変更内容及び計算書類に与える影響

該当事項はありません。

3. 有価証券等の委託売買取引について

取引形態によっては約定単価に委託手数料額を含めている場合もあり、当該手数料相当額は取得、売却金額に含まれております。

(その他の注記)

項目	期別	第 20 期	第 21 期
		(平成21年10月27日現在)	(平成22年4月27日現在)
1 期首元本額		16,148,108,055 円	14,422,600,434 円
期中追加設定元本額		125,186,182 円	100,673,405 円
期中一部解約元本額		1,850,693,803 円	1,997,951,492 円

(4) 附属明細表

第 1 有価証券明細表

(1) 株式

有価証券明細表

MHAMキャピタル・グロース・オープン

(平成22年4月27日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
日本・円	ショーバンドホールディングス	54,400	1,851	100,694,400	
	東京エネシス	52,000	679	35,308,000	
	ユニ・チャーム ベットケア	7,900	3,115	24,608,500	
	信越化学工業	26,800	5,500	147,400,000	
	J S R	27,000	1,966	53,082,000	
	東京応化工業	16,900	1,954	33,022,600	
	宇部興産	498,000	249	124,002,000	

三洋化成工業	44,000	569	25,036,000
藤倉化成	87,400	502	43,874,800
マンダム	8,500	2,537	21,564,500
ニフコ	63,300	2,081	131,727,300
ツムラ	11,600	2,751	31,911,600
ブリヂストン	30,200	1,588	47,957,600
東海カーボン	60,000	549	32,940,000
日本碍子	26,000	1,849	48,074,000
日立金属	87,000	993	86,391,000
住友金属鉱山	63,000	1,425	89,775,000
日本発條	53,000	907	48,071,000
日本製鋼所	42,000	1,046	43,932,000
アマダ	95,000	800	76,000,000
旭ダイヤモンド工業	28,000	995	27,860,000
ディスコ	4,400	6,700	29,480,000
ヒラノテクシード	39,000	1,125	43,875,000
ナブテスコ	101,000	1,218	123,018,000
S M C	5,800	13,220	76,676,000
小松製作所	47,400	1,904	90,249,600
東芝	295,000	548	161,660,000
三菱電機	128,000	858	109,824,000
富士通	169,000	668	112,892,000
山武	29,500	2,358	69,561,000
アドバンテスト	25,300	2,516	63,654,800
スタンレー電気	67,200	1,894	127,276,800
ファナック	5,300	11,670	61,851,000
ローム	13,000	7,030	91,390,000
ニチコン	24,600	1,290	31,734,000
東京エレクトロン	13,700	6,410	87,817,000
デンソー	17,100	2,631	44,990,100
トヨタ自動車	46,500	3,695	171,817,500
カヤバ工業	90,000	364	32,760,000
アイシン精機	27,000	2,752	74,304,000
本田技研工業	46,400	3,335	154,744,000
豊田合成	27,000	2,595	70,065,000
島津製作所	129,000	805	103,845,000
シチズンホールディングス	71,600	681	48,759,600
ビジョン	6,200	3,530	21,886,000
任天堂	6,400	31,700	202,880,000
近鉄エクスプレス	12,300	2,209	27,170,700
グリー	19,200	5,680	109,056,000
ザッパラス	664	158,900	105,509,600
ソネットエンタテインメント	341	253,400	86,409,400
ドリコム	19	714,000	13,566,000
ヤフー	628	38,400	24,115,200
大塚商会	9,600	6,730	64,608,000
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	1,008	148,600	149,788,800
エヌ・ティ・ティ・データ	129	347,000	44,763,000
D T S	21,100	1,118	23,589,800

	三井物産	137,500	1,475	202,812,500	
	住友商事	137,900	1,144	157,757,600	
	三菱UFJフィナンシャル・グループ	393,300	509	200,189,700	
	三井住友フィナンシャルグループ	71,200	3,235	230,332,000	
	野村ホールディングス	124,000	669	82,956,000	
	第一生命保険	111	158,600	17,604,600	
	東京海上ホールディングス	44,800	2,830	126,784,000	
	T & Dホールディングス	20,850	2,445	50,978,250	
	野村不動産ホールディングス	124,300	1,605	199,501,500	
	三井不動産	116,000	1,689	195,924,000	
	住友不動産	78,000	1,892	147,576,000	
	住友不動産販売	10,110	4,670	47,213,700	
	東急リパブル	7,200	1,008	7,257,600	
	ダイセキ	52,100	2,063	107,482,300	
日本・円	小計	4,199,760		5,903,188,950	
	銘柄数	70			
	組入時価比率	96.7%		100.0%	
合計		4,199,760		5,903,188,950	

（注1）比率は左より組入時価の純資産総額に対する比率、および各小計欄の合計金額に対する比率であります。

（2）株式以外の有価証券
該当事項はありません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。

2 ファンドの現況

純資産額計算書（平成22年6月4日現在）

資産総額（円）	5,446,221,284
負債総額（円）	12,285,964
純資産総額（ - ）（円）	5,433,935,320
発行済口数（口）	12,444,534,098
1口当たり純資産額（ / ）（円）	0.4367

第5 【設定及び解約の実績】

原届出書の「第三部 ファンドの詳細情報 第5 設定及び解約の実績」については、下記の内容に更新・追加されます。

<更新・訂正後>

下記決算期中の設定及び解約の実績及び当該決算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
2期	10,348,894,161	21,817,413,212	63,787,112,543

3期	3,933,412,039	12,990,272,370	54,730,252,212
4期	3,197,632,786	6,533,290,288	51,394,594,710
5期	501,638,331	6,147,743,252	45,748,489,789
6期	235,425,071	4,404,534,704	41,579,380,156
7期	164,977,201	7,929,895,331	33,814,462,026
8期	294,610,452	6,019,724,357	28,089,348,121
9期	708,336,438	4,813,713,417	23,983,971,142
10期	2,112,583,359	2,972,627,505	23,123,926,996
11期	2,851,530,306	4,294,105,990	21,681,351,312
12期	6,654,686,862	7,616,421,245	20,719,616,929
13期	19,122,009,287	15,749,662,233	24,091,963,983
14期	1,677,784,733	1,077,843,574	24,691,905,142
15期	430,041,339	2,772,004,669	22,349,941,812
16期	299,900,361	2,990,389,896	19,659,452,277
17期	85,106,108	2,028,346,325	17,716,212,060
18期	52,647,791	1,331,214,463	16,437,645,388
19期	707,460,500	996,997,833	16,148,108,055
20期	125,186,182	1,850,693,803	14,422,600,434
21期	100,673,405	1,997,951,492	12,525,322,347

（注）第1期の設定口数には当初申込期間中にかかる設定口数を含みます。

第四部【特別情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(1) 資本金の額

<u>平成21年12月31日現在</u>	資本金	20億4,560万円
	発行する株式の総数	200万株
	発行済株式の総数	1,052,070株

< 訂正後 >

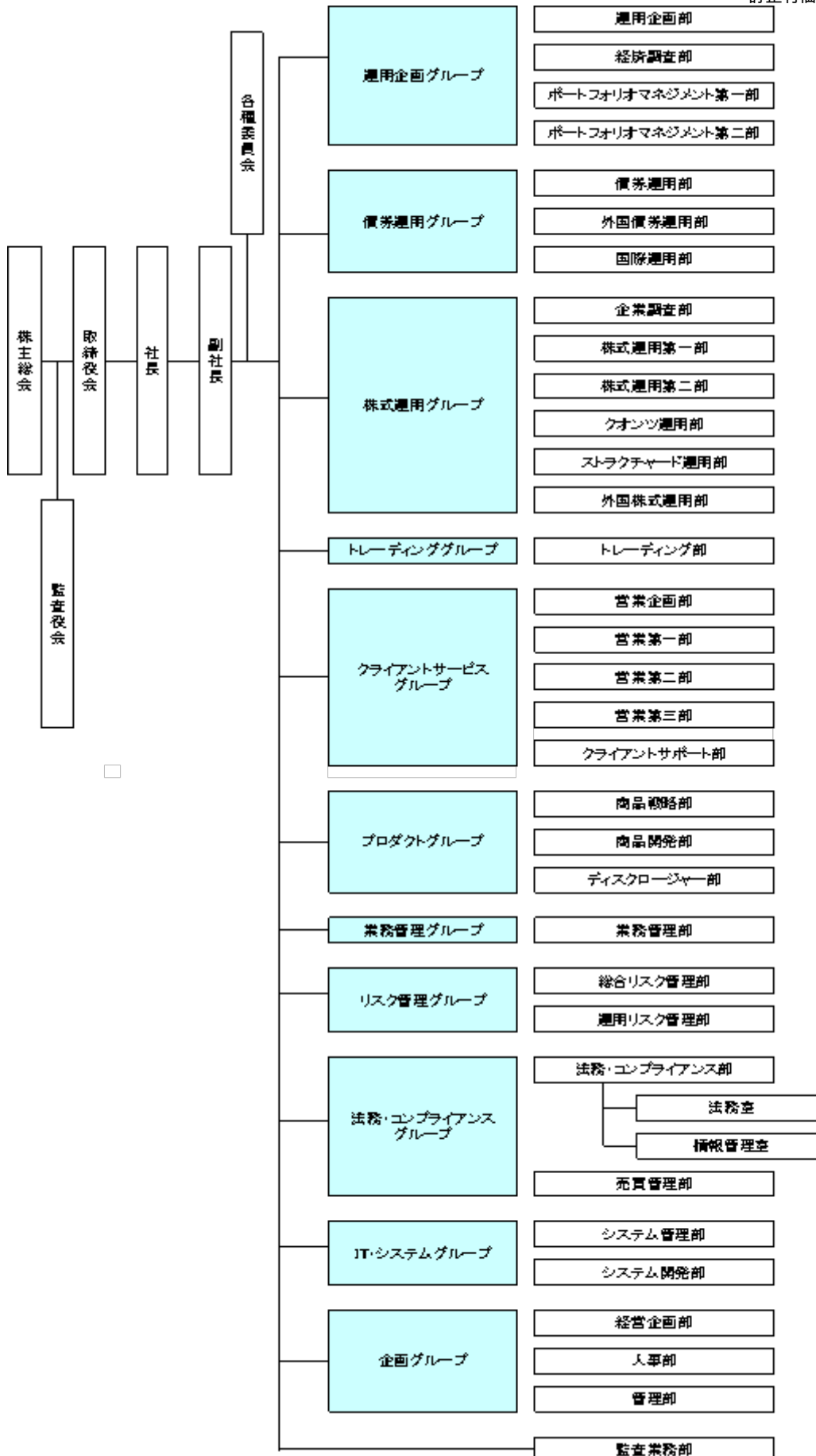
(1) 資本金の額

<u>平成22年 6月30日現在</u>	資本金	20億4,560万円
	発行する株式の総数	200万株
	発行済株式の総数	1,052,070株

< 訂正前 >

(2) 会社の機構(平成21年12月31日現在)

会社の組織図

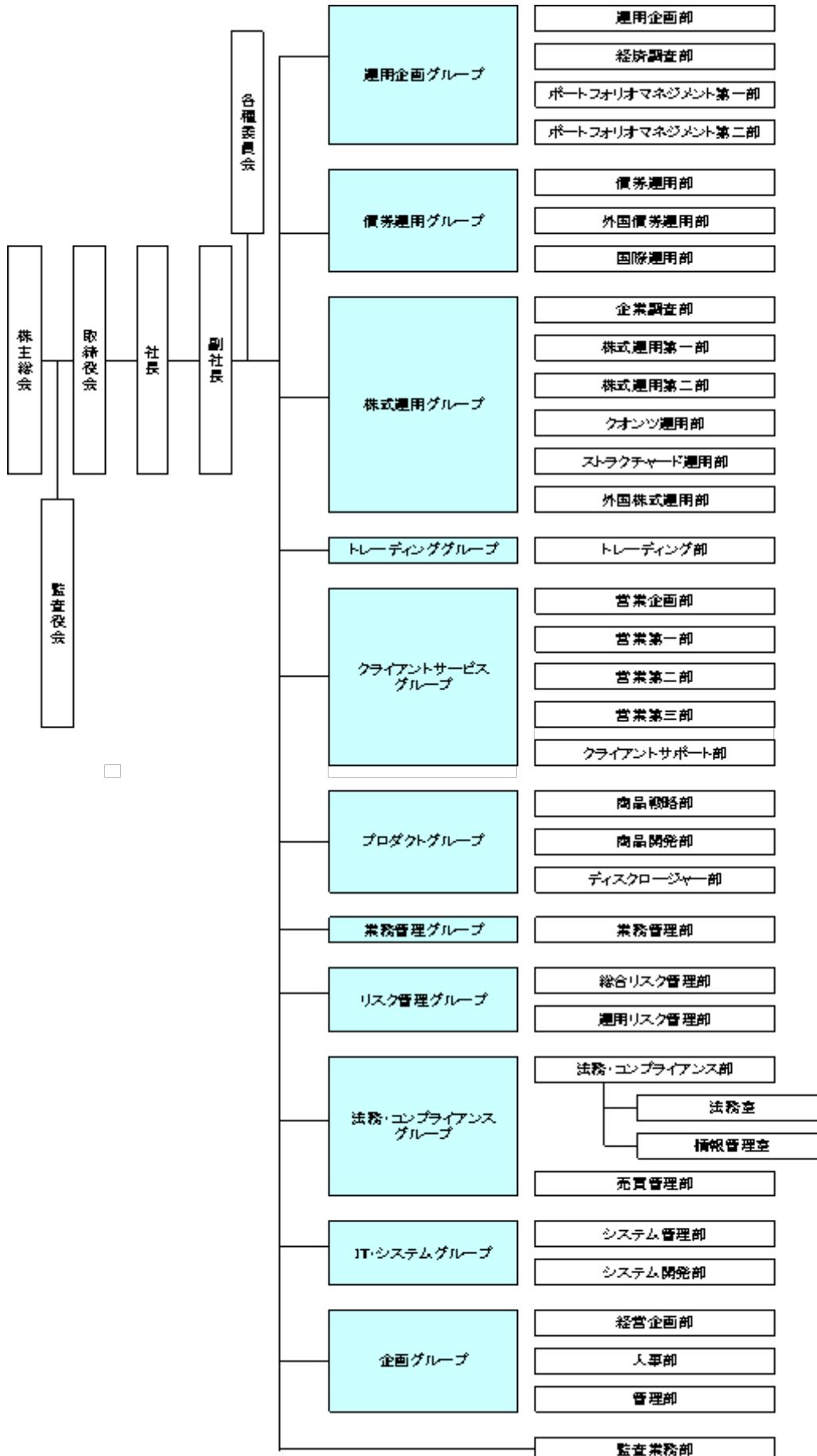


運用の基本プロセス
(略)

< 訂正後 >

(2) 会社の機構(平成22年6月30日現在)

会社の組織図



運用の基本プロセス

(略)

2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の「第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況」については、下記の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者であるみずほ投信投資顧問株式会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投信委託会社として、投資信託の設定および運用（投資運用業）ならびにその受益証券（受益権）の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資一任契約に基づく運用（投資運用業）および投資助言業務を行っています。

平成22年6月4日現在、当社の投資信託は以下の通りです。

基本的性格	本数	純資産総額(円)
追加型公社債投資信託	15	267,264,140,243
追加型株式投資信託	197	1,590,015,152,746
追加型金銭信託受益権投資信託	12	22,630,206,970
単位型株式投資信託	57	161,952,018,954
合計	281	2,041,861,518,913

3 委託会社等の経理状況

原届出書の「第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」については、下記の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

1 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、前事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）は、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）及び当事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の財務諸表について新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金	330	-
預金	12,944,930	-
現金及び預金	-	14,962,298

有価証券	699,650	25,030
前払費用	95,060	101,789
未収入金	107,717	56,345
未収委託者報酬	1,541,471	1,736,677
未収運用受託報酬	463,544	519,373
繰延税金資産	170,033	179,238
その他流動資産	168,518	187,561
貸倒引当金	1,002	1,156
流動資産合計	16,190,255	17,767,158
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	262,456	233,974
工具、器具及び備品（純額）	168,704	148,659
リース資産（純額）	17,252	11,463
有形固定資産合計	1 448,414	1 394,097
無形固定資産		
電話加入権	12,747	12,747
ソフトウェア	9,688	3,223
その他無形固定資産	404	332
無形固定資産合計	1 22,840	1 16,303
投資その他の資産		
投資有価証券	7,337,632	5,758,174
長期差入保証金	577,850	577,286
会員権	19,500	19,500
繰延税金資産	241,963	190,588
その他	12,646	95,443
投資その他の資産合計	8,189,593	6,640,992
固定資産合計	8,660,848	7,051,393
資産合計	24,851,103	24,818,551
負債の部		
流動負債		
預り金	310,663	44,204
リース債務	8,154	4,832
未払金		
未払収益分配金	1,211	1,321
未払償還金	59,604	50,792
未払手数料	653,229	721,668
その他未払金	18,206	15,880
未払金合計	732,252	789,661
未払費用	975,985	1,049,138
未払法人税等	416	24,004
未払消費税等	-	38,231
賞与引当金	357,300	353,700
その他流動負債	-	3,124
流動負債合計	2,384,772	2,306,897
固定負債		
リース債務	22,465	17,633
長期未払金	7,965	3,465
役員退職慰労引当金	86,774	110,811
時効後支払損引当金	-	19,417
その他固定負債	5,355	7,175

固定負債合計	122,560	158,502
負債合計	2,507,332	2,465,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,045,600	2,045,600
資本剰余金		
資本準備金	2,266,400	2,266,400
その他資本剰余金	2,450,074	2,450,074
資本剰余金合計	4,716,474	4,716,474
利益剰余金		
利益準備金	128,584	128,584
その他利益剰余金		
配当準備積立金	104,600	104,600
退職慰労積立金	100,000	100,000
別途積立金	9,800,000	9,800,000
繰越利益剰余金	5,550,806	5,546,588
利益剰余金合計	15,683,990	15,679,773
株主資本合計	22,446,065	22,441,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,294	88,695
評価・換算差額等合計	102,294	88,695
純資産合計	22,343,771	22,353,152
負債純資産合計	24,851,103	24,818,551

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	16,239,947	14,222,190
運用受託報酬	2,382,150	2,125,489
営業収益合計	18,622,097	16,347,680
営業費用		
支払手数料	7,324,723	6,371,967
広告宣伝費	403,189	309,057
公告費	333	2,709
調査費		
調査費	752,457	744,358
委託調査費	3,325,622	3,116,185
図書費	11,105	7,190
調査費合計	4,089,185	3,867,734
委託計算費	175,717	161,203
営業雑経費		
通信費	66,046	59,337
印刷費	258,312	239,050
協会費	18,680	15,895
諸会費	2,786	2,757
その他	87,262	66,123
営業雑経費合計	433,087	383,164

営業費用合計	12,426,237	11,095,835
一般管理費		
給料		
役員報酬	138,599	140,028
給料手当	2,232,878	2,197,825
賞与	363,519	310,145
給料合計	2,734,996	2,647,998
交際費	1,351	175
旅費交通費	111,430	77,055
租税公課	53,660	50,080
不動産賃借料	512,167	503,050
退職給付費用	119,728	144,536
福利厚生費	361,478	358,974
貸倒引当金繰入	-	153
賞与引当金繰入	357,300	353,700
役員退職慰労引当金繰入	21,351	30,697
固定資産減価償却費	126,603	94,529
諸経費	422,564	335,956
一般管理費合計	4,822,632	4,596,907
営業利益	1,373,227	654,937
営業外収益		
受取配当金	16,524	1,744
有価証券利息	49,988	482
受取利息	20,577	29,132
有価証券解約益	-	41,491
有価証券償還益	-	6,237
時効到来償還金等	17,667	8,350
雑収入	8,325	19,778
営業外収益合計	113,083	107,217
営業外費用		
時効到来償還金等払戻損	48,628	-
有価証券解約損	6,915	46,089
ヘッジ会計に係る損失	9,357	-
時効後支払損引当金繰入額	-	10,277
雑損失	12,493	13,602
営業外費用合計	77,395	69,969
経常利益	1,408,915	692,186
特別利益		
投資有価証券売却益	3,436	-
特別利益合計	3,436	-
特別損失		
システム統合費用	201,974	-
リース会計基準適用に伴う影響額	14,726	-
保養所処分損	3,353	-
投資有価証券評価損	529	29,794
過年度時効後支払損引当金繰入	-	17,043
特別損失合計	220,583	46,837
税引前当期純利益	1,191,768	645,348
法人税、住民税及び事業税	466,036	250,604
法人税等調整額	6,892	32,840

法人税等合計	459,144	283,445
当期純利益	732,624	361,902

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,045,600	2,045,600
当期末残高	2,045,600	2,045,600
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	2,266,400	2,266,400
当期末残高	2,266,400	2,266,400
その他資本剰余金		
前期末残高	2,450,074	2,450,074
当期末残高	2,450,074	2,450,074
資本剰余金合計		
前期末残高	4,716,474	4,716,474
当期末残高	4,716,474	4,716,474
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	128,584	128,584
当期末残高	128,584	128,584
その他利益剰余金		
配当準備積立金		
前期末残高	104,600	104,600
当期末残高	104,600	104,600
退職慰労積立金		
前期末残高	100,000	100,000
当期末残高	100,000	100,000
別途積立金		
前期末残高	9,800,000	9,800,000
当期末残高	9,800,000	9,800,000
繰越利益剰余金		
前期末残高	5,677,723	5,550,806
当期変動額		
剰余金の配当	859,541	366,120
当期純利益	732,624	361,902
当期変動額合計	126,917	4,217
当期末残高	5,550,806	5,546,588
利益剰余金合計		
前期末残高	15,810,907	15,683,990
当期変動額		
剰余金の配当	859,541	366,120
当期純利益	732,624	361,902
当期変動額合計	126,917	4,217
当期末残高	15,683,990	15,679,773

株主資本合計		
前期末残高	22,572,982	22,446,065
当期変動額		
剰余金の配当	859,541	366,120
当期純利益	732,624	361,902
当期変動額合計	126,917	4,217
当期末残高	22,446,065	22,441,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	5,698	102,294
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	96,595	13,598
当期変動額合計	96,595	13,598
当期末残高	102,294	88,695
評価・換算差額等合計		
前期末残高	5,698	102,294
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	96,595	13,598
当期変動額合計	96,595	13,598
当期末残高	102,294	88,695
純資産合計		
前期末残高	22,567,284	22,343,771
当期変動額		
剰余金の配当	859,541	366,120
当期純利益	732,624	361,902
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	96,595	13,598
当期変動額合計	223,512	9,380
当期末残高	22,343,771	22,353,152

重要な会計方針

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法 その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法	1 有価証券の評価基準及び評価方法 その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの 同左
2 デリバティブ取引により生じる正味の債権及び債務の評価基準及び評価方法...時価法	2 デリバティブ取引により生じる正味の債権及び債務の評価基準及び評価方法 同左
3 固定資産の減価償却方法 (1) 有形固定資産（リース資産を除く）...定率法 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については定額法 (2) 無形固定資産...定額法 ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見込み利用可能期間（5年）による定額法	3 固定資産の減価償却方法 (1) 有形固定資産（リース資産を除く） 同左 (2) 無形固定資産 同左

<p>(3) リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定率法</p>	<p>(3) リース資産 同左</p>
<p>4 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 当社の自己査定基準に基づき、一般債権については予想損失率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支払いに備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金（前払年金費用） 従業員に対する退職給付に備えるため、決算日における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、決算日において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支給に備えて、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p>	<p>4 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 退職給付引当金（前払年金費用） 同左</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支給に備えて、内規に基づく期末要支給額を計上しております。（執行役員に対する退職慰労引当金を含む。）</p> <p>(5) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>
<p>5 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p>	<p>5 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 同左</p>
<p>6 ヘッジ会計の方針 時価ヘッジによっております。 ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段...株価指数先物取引 ヘッジ対象...有価証券 ヘッジ方針 当社が保有する有価証券の投資リスクを低減させるためにヘッジ取引を行っております。 ヘッジの有効性評価の方法 ヘッジ対象とヘッジ手段の価格変動の相関関係を継続的に計測してヘッジの有効性を評価しております。</p>	<p>6 ヘッジ会計の方針 同左</p>
<p>7 消費税等の処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。</p>	<p>7 消費税等の処理方法 同左</p>

会計方針の変更

<p>前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)</p>	<p>当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)</p>
---	---

<p>（リース取引に関する会計基準の適用） 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以降開始する事業年度から適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準及び適用指針を適用しております。</p> <p>これにより、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、前事業年度末までに開始した取引を含め、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、当該取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とする定率法を採用しております。なお、この変更による前事業年度末までの税引前当期純利益にかかる累積的影響額は、特別損失として処理しております。</p> <p>これにより、従来の方法に比べ、固定資産は17,252千円、流動負債は8,154千円、固定負債は22,465千円増加し、営業利益は1,390千円増加し、経常利益は66千円、税引前当期純利益は14,793千円減少しております。</p>	
--	--

表示方法の変更

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
	<p>（損益計算書） 前期まで営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりました「有価証券解約益」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため区分掲記しております。 なお、前期における「有価証券解約益」の金額は1,293千円であります。</p>

追加情報

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
	<p>（時効後支払損引当金） 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金については、従来、請求時に費用処理をしておりましたが、金額の重要性が増したことにより、受益者からの今後の支払請求に備えるため、当事業年度より、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を「時効後支払損引当金」として計上する方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べ、経常利益は2,374千円、税引前当期純利益は19,417千円減少しております。</p>

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)																				
<p>1 有形固定資産及び無形固定資産の減価償却累計額</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>69,730千円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td>287,344千円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td>44,652千円</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>54,108千円</td> </tr> <tr> <td>その他無形固定資産</td> <td>441千円</td> </tr> </table>	建物	69,730千円	工具、器具及び備品	287,344千円	リース資産	44,652千円	ソフトウェア	54,108千円	その他無形固定資産	441千円	<p>1 有形固定資産及び無形固定資産の減価償却累計額</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>100,662千円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td>309,801千円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td>28,441千円</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>40,224千円</td> </tr> <tr> <td>その他無形固定資産</td> <td>513千円</td> </tr> </table>	建物	100,662千円	工具、器具及び備品	309,801千円	リース資産	28,441千円	ソフトウェア	40,224千円	その他無形固定資産	513千円
建物	69,730千円																				
工具、器具及び備品	287,344千円																				
リース資産	44,652千円																				
ソフトウェア	54,108千円																				
その他無形固定資産	441千円																				
建物	100,662千円																				
工具、器具及び備品	309,801千円																				
リース資産	28,441千円																				
ソフトウェア	40,224千円																				
その他無形固定資産	513千円																				

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項				
株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,052,070	-	-	1,052,070
2. 配当に関する事項				
(1) 配当金支払額				
平成20年6月17日の第45回定時株主総会において、次のとおり決議しました。				
1) 配当金の総額			859,541,190円	
2) 1株当たり配当額			817円	
3) 基準日			平成20年3月31日	
4) 効力発生日			平成20年6月18日	
(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの				
平成21年6月16日の第46回定時株主総会において、次のとおり決議しております。				
1) 配当金の総額			366,120,360円	
2) 配当の原資			利益剰余金	
3) 1株当たり配当額			348円	
4) 基準日			平成21年3月31日	
5) 効力発生日			平成21年6月17日	

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項				
株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,052,070	-	-	1,052,070
2. 配当に関する事項				
(1) 配当金支払額				
平成21年6月16日の第46回定時株主総会において、次のとおり決議しました。				
1) 配当金の総額			366,120,360円	
2) 1株当たり配当額			348円	
3) 基準日			平成21年3月31日	
4) 効力発生日			平成21年6月17日	
(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの				
平成22年6月15日の第47回定時株主総会において、次のとおり決議しております。				
1) 配当金の総額			179,903,970円	
2) 配当の原資			利益剰余金	
3) 1株当たり配当額			171円	
4) 基準日			平成22年3月31日	
5) 効力発生日			平成22年6月16日	

(リース取引関係)

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
1. ファイナンス・リース取引(借主側) 所有権移転外ファイナンス・リース取引	1. ファイナンス・リース取引(借主側) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

<p>リース資産の内容 有形固定資産 主として、事務用機器及び車両運搬具であります。</p> <p>リース資産の減価償却の方法 重要な会計方針「3 固定資産の減価償却方法」に 記載のとおりであります。</p>	<p>リース資産の内容 同左</p> <p>リース資産の減価償却の方法 同左</p>
--	--

(金融商品関係)

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(追加情報)

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業を行っており、資金運用については、安全性の高い金融資産で運用しております。

デリバティブは、当社が保有する特定の有価証券の投資リスクを低減させる目的で利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、相手先の信用リスクに晒されております。また、有価証券及び投資有価証券は、当社業務運営に関連する株式、債券、投資信託であります。これらは、それぞれ発行体の信用リスク、金利の変動リスク及び市場価格の変動リスクに晒されております。長期差入保証金は、相手先の信用リスクに晒されております。

営業債務である未払手数料は、1年以内の支払期日であります。

デリバティブ取引には株価指数先物取引があり、その他有価証券で保有する投資信託の価格変動を相殺する目的で行い、ヘッジ対象に係る損益を認識する方法（時価ヘッジ）を適用しています。なお、ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間においてヘッジ手段とヘッジ対象の価格変動の相関関係を継続的に計測する事によりヘッジの有効性を評価しております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスクの管理

営業債権の相手先の信用リスクに関しては、当社の信用リスク管理の基本方針に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な相手先の信用状況を半期ごとに把握する体制としています。

有価証券の発行体の信用リスク及びデリバティブ取引のカウンターパーティーリスクに関しては、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しています。

市場リスクの管理

有価証券を含む金融商品の保有については、当社の市場リスク管理の基本方針（自己資金運用）に従い、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、価格変動リスクの軽減を図っています。デリバティブ取引に関しては、取引の執行、ヘッジの有効性の評価に関する部門を分離し、内部統制を確立しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価は、市場価格に基づく価額によっております。また、「2. 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません。（（注2）を参照ください。）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	14,962,298	14,962,298	-
(2) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	5,330,306	5,330,306	-
(3) 未収委託者報酬	1,736,677	1,736,677	-
(4) 未収運用受託報酬	519,373	519,373	-
(5) 長期差入保証金	577,286	576,349	936
資産計	23,125,941	23,125,004	936
(1) 未払手数料	721,668	721,668	-
負債計	721,668	721,668	-
デリバティブ取引(1) ヘッジ会計が適用されているもの	9,307	9,307	-

(1) デリバティブ取引は、債権・債務を差し引きして表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1) 現金及び預金

預金については、すべて短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格、債券は日本証券業協会の公表価格、投資信託は公表されている基準価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

(3) 未収委託者報酬及び(4) 未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 長期差入保証金

当社では、長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照ください。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額(千円)
非上場株式	452,898

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(2) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

(注3) 満期のある金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超

預金	14,961,825	-	-	-	-	-
有価証券及び投資有価証券						
その他有価証券のうち満期のあるもの						
債券	25,030	-	-	-	-	-
証券投資信託	-	-	115,656	-	-	892,840
未収委託者報酬	1,736,677	-	-	-	-	-
未収運用受託報酬	519,373	-	-	-	-	-
長期差入保証金	252	576,944	50	-	-	-
合計	17,243,158	576,944	115,706	-	-	892,840

(有価証券関係)

前事業年度(平成21年3月31日)

1 その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (千円)	貸借対照表日 における貸借 対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	14,345	17,537	3,192
債券	25,046	25,112	66
証券投資信託	2,714,944	2,770,741	55,796
小計	2,754,335	2,813,391	59,055
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	63,670	36,935	26,735
債券	699,654	699,650	4
証券投資信託	4,198,602	3,993,813	204,789
小計	4,961,927	4,730,398	231,529
合計	7,716,263	7,543,789	172,473

2 当事業年度中に売却したその他有価証券（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）

売却額（千円）	21,022
売却益の合計額（千円）	3,436
売却損の合計額（千円）	-

当事業年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)中に解約・償還したその他有価証券は以下のとおりであります。

解約・償還額	273,772千円
解約・償還益	1,293千円
解約・償還損	6,915千円

3 時価評価されていない有価証券

内容	貸借対照表計上額（千円）
非上場株式	493,493

4 その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の決算日後における償還予定額

区分	1年以内(千円)	1年超5年以内(千円)	5年超10年以内(千円)	10年超(千円)
債券				
国債	699,650	25,112		
合計	699,650	25,112		

当事業年度(平成22年3月31日)

1 その他有価証券

種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価(千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	19,760	14,345	5,414
債券	25,030	25,008	21
証券投資信託	1,606,161	1,582,711	23,449
小計	1,650,951	1,622,065	28,886
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	43,610	63,670	20,060
債券	-	-	-
証券投資信託	3,635,744	3,794,116	158,372
小計	3,679,354	3,857,786	178,432
合計	5,330,306	5,479,852	149,546

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 452,898千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2 当事業年度中に売却したその他有価証券(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	10,800	-	-
債券	-	-	-
証券投資信託	-	-	-
合計	10,800	-	-

3 当事業年度中に解約・償還したその他有価証券(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

種類	解約・償還額(千円)	解約・償還益の合計額(千円)	解約・償還損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
証券投資信託	2,116,777	47,728	46,089
合計	2,116,777	47,728	46,089

4 減損処理を行った有価証券

当事業年度において、投資有価証券について29,794千円(非上場株式29,794千円)減損処理を行っております。

(デリバティブ取引関係)

前事業年度(平成21年3月31日)

1 取引の状況に関する事項

(1) 取引の内容

利用しているデリバティブ取引は、株価指数先物取引であります。

(2) 取引に対する取組方針

デリバティブ取引は、将来の市場の変動によるリスク低減を目的としており、投機的な取引は行わない方針であります。

(3) 取引の利用目的

デリバティブ取引は、当社が保有する特定の有価証券の投資リスクを低減させる目的で利用しており、当該取引についてヘッジ会計を行っております。

ヘッジ会計の方針

時価ヘッジによっております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...株価指数先物取引

ヘッジ対象...有価証券

ヘッジ方針

当社が保有する有価証券の投資リスクを低減させるため、対象有価証券の時価総額の範囲内でヘッジを行っております。

ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間においてヘッジ手段とヘッジ対象の価格変動の相関関係を継続的に計測する事によりヘッジの有効性を評価しております。

(4) 取引に係るリスクの内容

株価指数先物取引は、市場変動によるリスクを有しております。

(5) 取引に係るリスクの管理体制

デリバティブ取引については社内ルールに従い、取締役会の承認のもとに管理部が管理を行い、トレーディング部が取引を執行しております。

また、所定の期間毎に取引状況について取締役会へ報告を行っております。

2 取引の時価等に関する事項

ヘッジ会計を適用しているものは開示の対象から除いており、該当事項はありません。

当事業年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当するものはありません。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

株式関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類等	主なヘッジ対象	当事業年度(平成22年3月31日)		
			契約額等(千円)	契約額のうち1年超(千円)	時価(千円)
ヘッジ対象に係る損益を認識する方法	株価指数先物取引				
	売建	投資有価証券	70,525	-	7,175
	買建	投資有価証券	224,243	-	16,482
	合計		294,768	-	9,307

(注) 時価の算定方法

取引所の価格に基づき算定しております。

(退職給付関係)

前事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として企業型確定拠出年金制度を設けております。

2 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	(注1)	536,082千円
年金資産		536,729千円

退職給付引当金

前払年金費用 646千円

(注1) 当社は退職給付債務の算定にあたり、簡便法（在籍する従業員については退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とし、年金受給者及び待機者については直近の年金財政計算上の責任準備金の額を退職給付債務とする方法）を採用しております。

3 退職給付費用に関する事項

勤務費用	(注1)	119,728千円
退職給付費用		119,728千円

(注1) 確定拠出型制度の退職給付費用16,753千円を含めております。

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として企業型確定拠出年金制度を設けております。

2 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	(注1)	577,943千円
年金資産		656,904千円

退職給付引当金

前払年金費用 78,961千円

(注1) 当社は退職給付債務の算定にあたり、簡便法（在籍する従業員については退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とし、年金受給者及び待機者については直近の年金財政計算上の責任準備金の額を退職給付債務とする方法）を採用しております。

3 退職給付費用に関する事項

勤務費用	(注1)	144,536千円
退職給付費用		144,536千円

(注1) 確定拠出型制度の退職給付費用19,731千円を含めております。

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)
1 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産	1 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産

有価証券償却超過額	11,432千円	有価証券償却超過額	13,915千円
ソフトウェア償却超過額	125,208千円	ソフトウェア償却超過額	111,021千円
賞与引当金損金算入限度超過額	145,385千円	賞与引当金損金算入限度超過額	143,920千円
退任役員退職年金未払金	5,968千円	退任役員退職年金未払金	3,240千円
ゴルフ会員権償却超過額	31,121千円	ゴルフ会員権償却超過額	31,121千円
その他有価証券評価差額金	70,179千円	未払事業税	6,912千円
その他	69,737千円	時効後支払損引当金	7,900千円
繰延税金資産小計	459,033千円	その他有価証券評価差額金	60,850千円
評価性引当額	44,620千円	その他	81,394千円
繰延税金資産合計	414,413千円	繰延税金資産小計	460,278千円
繰延税金負債		評価性引当額	58,322千円
未払事業税	2,152千円	繰延税金資産合計	401,956千円
前払年金費用	263千円	繰延税金負債	
繰延税金負債合計	2,415千円	前払年金費用	32,129千円
繰延税金資産の純額	411,997千円	繰延税金負債合計	32,129千円
		繰延税金資産の純額	369,827千円
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	40.69%	法定実効税率	40.69%
（調整）		（調整）	
評価性引当額	2.65%	評価性引当額	2.12%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.42%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.59%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.26%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.05%
住民税等均等割	0.35%	住民税等均等割	0.59%
その他	0.02%	その他	0.02%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	38.53%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	43.92%

(関連当事者情報)

前事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(追加情報)

当事業年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」（企業会計基準第11号）及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第13号）を適用しております。

なお、これによる開示対象範囲の変更はありません。

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	株式会社みずほ銀行	東京都千代田区	650,000 百万円	銀行業	なし	投資信託の販売	支払手数料	2,882,983	未払手数料	246,189

同一の親会社をもつ会社	みずほインベスターズ証券株式会社	東京都中央区	80,288 百万円	証券業	所有 直接0.0%	投資信託の販売	支払手数料	1,342,543	未払手数料	118,580
同一の親会社をもつ会社	みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区	247,231 百万円	信託 銀行業	なし	信託財産の管理	委託者報酬	11,271,538	未収委託者報酬	1,255,215

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

株式会社みずほフィナンシャルグループ

（東京証券取引所、大阪証券取引所、及びニューヨーク証券取引所に上場）

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	株式会社みずほ銀行	東京都千代田区	700,000 百万円	銀行業	なし	投資信託の販売	支払手数料	2,714,947	未払手数料	312,835
同一の親会社をもつ会社	みずほインベスターズ証券株式会社	東京都中央区	80,288 百万円	証券業	所有 直接0.0%	投資信託の販売	支払手数料	895,754	未払手数料	95,215
同一の親会社をもつ会社	みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区	247,260 百万円	信託 銀行業	なし	信託財産の管理	委託者報酬	9,985,821	未収委託者報酬	1,507,100

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

株式会社みずほフィナンシャルグループ

（東京証券取引所、大阪証券取引所、及びニューヨーク証券取引所に上場）

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)		当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
1株当たり純資産額	21,237.91円	1株当たり純資産額	21,246.82円
1株当たり当期純利益	696.36円	1株当たり当期純利益	343.99円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。 (1株当たり当期純利益の算定上の基礎)		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。 (1株当たり当期純利益の算定上の基礎)	
損益計算書上の当期純利益	732,624千円	損益計算書上の当期純利益	361,902千円

普通株式に係る当期純利益	732,624千円	普通株式に係る当期純利益	361,902千円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	1,052,070株	普通株式の期中平均株式数	1,052,070株

(重要な後発事象)

前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
該当事項はありません。	同左

第2 【その他の関係法人の概況】

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部 は訂正部分を示します。

<訂正前>

1 名称、資本金の額及び事業の内容

名称		資本金の額 (百万円)	事業の内容
(1) 受託会社	みずほ信託銀行株式会社	<u>247,231</u>	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を行っています。

(2) 販売会社	みずほインベスターズ証券株式会社	80,288	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
	S M B Cフレンド証券株式会社	27,270	
	藍澤證券株式会社	8,000	
	株式会社S B I証券	47,937	
	飯塚中川証券株式会社	100	
	臼木証券株式会社	255	
	おきなわ証券株式会社	628	
	金山証券株式会社	504	
	カブドットコム証券株式会社	7,196	
	木村証券株式会社	500	
	黒川木徳証券株式会社	2,065	
	コスモ証券株式会社	13,500	
	寿証券株式会社	305	
	篠山証券株式会社	100	
	佐世保證券株式会社	182	
	静岡東海証券株式会社	600	
	上光証券株式会社	500	
	大熊本証券株式会社	343	
	大徳証券株式会社	300	
	田原証券株式会社	100	
	長野證券株式会社	600	
	中原証券株式会社	506	
	日産センチュリー証券株式会社	1,500	
	二浪証券株式会社	100	
	のぞみ証券株式会社	2,091	
	ばんせい山丸証券株式会社	1,558	
	廣田証券株式会社	600	
	前田証券株式会社	2,198	
	丸国証券株式会社	601	
	三菱UFJ証券株式会社	65,518	
	むさし証券株式会社	5,000 ¹	
	八幡証券株式会社	1,260	
	楽天証券株式会社	7,477 ³	
	リテラ・クレア証券株式会社	3,794	
	株式会社あおぞら銀行	419,781	銀行法に基づき監督官庁の免許を受け、銀行業を営んでいます。
	株式会社秋田銀行	14,100	
	株式会社神奈川銀行	5,191	
	株式会社北日本銀行	7,761	
	株式会社高知銀行	12,044	
	株式会社山陰合同銀行	20,705	
	株式会社荘内銀行	14,200	
株式会社常陽銀行	85,113		
スルガ銀行株式会社	30,043		
株式会社大光銀行	10,000		
株式会社第三銀行	22,461		
株式会社筑波銀行	31,368 ²		
株式会社徳島銀行	11,036		
株式会社名古屋銀行	25,090		
株式会社宮崎銀行	10,662		

(注) 資本金の額：平成21年3月末日現在 1 平成22年5月6日現在 2 平成22年3月1日現在
3 平成22年4月1日現在

<訂正後>

1 名称、資本金の額及び事業の内容

名称		資本金の額 (百万円)	事業の内容
(1) 受託会社	みずほ信託銀行株式会社	247,260	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を行っています。

(2) 販売会社	みずほインベスターズ証券株式会社	80,288	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
	S M B Cフレンド証券株式会社	27,270	
	藍澤證券株式会社	8,000	
	株式会社S B I証券	47,937	
	飯塚中川証券株式会社	100	
	臼木証券株式会社	255	
	おきなわ証券株式会社	628	
	金山証券株式会社	504	
	カブドットコム証券株式会社	7,196	
	木村証券株式会社	500	
	黒川木徳証券株式会社	2,065	
	コスモ証券株式会社	13,500	
	寿証券株式会社	305	
	篠山証券株式会社	100	
	佐世保證券株式会社	182	
	静岡東海証券株式会社	600	
	上光証券株式会社	500	
	大熊本証券株式会社	343	
	大徳証券株式会社	300	
	田原証券株式会社	100	
	長野證券株式会社	600	
	中原証券株式会社	506	
	日産センチュリー証券株式会社	1,500	
	二浪証券株式会社	100	
	のぞみ証券株式会社	2,091	
	ばんせい山丸証券株式会社	1,558	
	廣田証券株式会社	600	
	前田証券株式会社	2,198	
	丸国証券株式会社	601	
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	3,000 ³	
	むさし証券株式会社	5,000 ¹	
	八幡証券株式会社	1,260	
	楽天証券株式会社	7,477 ³	
	リテラ・クレア証券株式会社	3,794	
	株式会社あおぞら銀行	419,781	銀行法に基づき監督官庁の免許を受け、銀行業を営んでいます。
	株式会社秋田銀行	14,100	
	株式会社神奈川銀行	5,191	
	株式会社北日本銀行	7,761	
	株式会社高知銀行	12,044	
	株式会社山陰合同銀行	20,705	
	株式会社荘内銀行	14,200	
株式会社常陽銀行	85,113		
スルガ銀行株式会社	30,043		
株式会社大光銀行	10,000		
株式会社第三銀行	37,461		
株式会社筑波銀行	31,368 ²		
株式会社徳島銀行	11,036		
株式会社名古屋銀行	25,090		
株式会社宮崎銀行	10,662		

(注) 資本金の額：平成21年9月末日現在 1 平成22年5月6日現在 2 平成22年3月1日現在
3 平成22年4月1日現在

2 関係業務の概要

< 訂正前 >

(1) 受託会社

(略)

(2) 販売会社

ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

株式会社秋田銀行、カブドットコム証券株式会社、株式会社第三銀行、三菱UFJ証券株式会社およびみずほ投信投資顧問株式会社は、新規の受益権のお申込みの取扱いは行いません。

< 訂正後 >

(1) 受託会社

(略)

(2) 販売会社

ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

株式会社秋田銀行、カブドットコム証券株式会社、株式会社第三銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社およびみずほ投信投資顧問株式会社は、新規の受益権のお申込みの取扱いは行いません。

3 資本関係(持株比率5.0%以上を記載します。)

< 訂正前 >

委託会社と平成22年1月22日現在の関係法人との間の主な資本関係は以下の通りです。

委託会社は販売会社である佐世保証券株式会社の発行する株式のうち7.74%を保有しております。

委託会社は販売会社である田原証券株式会社の発行する株式のうち7.91%を保有しております。

< 訂正後 >

委託会社と平成22年7月23日現在の関係法人との間の主な資本関係は以下の通りです。

委託会社は販売会社である佐世保証券株式会社の発行する株式のうち7.74%を保有しております。

委託会社は販売会社である田原証券株式会社の発行する株式のうち8.00%を保有しております。

独立監査人の監査報告書

平成22年6月11日

みずほ投信投資顧問株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	樽本 修平 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	福村 寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているMHAMキャピタル・グロース・オープンの平成21年10月28日から平成22年4月27日までの第21期計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、MHAMキャピタル・グロース・オープンの平成22年4月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

みずほ投信投資顧問株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[委託会社の監査報告書（当期）へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成22年6月15日

みずほ投信投資顧問株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員	公認会計士	茂木 哲也 印
業務執行社員		
指定有限責任社員	公認会計士	福村 寛 印
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているみずほ投信投資顧問株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第47期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、みずほ投信投資顧問株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

平成21年12月8日

みずほ投信投資顧問株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	樽本 修平 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	福村 寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているMHAMキャピタル・グロース・オープンの平成21年4月28日から平成21年10月27日までの第20期計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、MHAMキャピタル・グロース・オープンの平成21年10月27日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

みずほ投信投資顧問株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[委託会社の監査報告書（前期）へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成21年6月16日

みずほ投信投資顧問株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 樽本 修平 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 茂木 哲也 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 福村 寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているみずほ投信投資顧問株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第46期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、みずほ投信投資顧問株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。